

# 豊南小学校・校長室だより

令和元年（2019年）12月12日

発行 中森啓之

## 本を読むことの大切さ(その2)

本を読むことが読解力や文章作成力を作るために大切なことは、前回、述べました。では、いったい、どんな本を読めばいいのでしょうか？しかし、本を読むことは大切ですが、「この本を読みなさい。あの本を読みなさい。」「えっ、まだ読んでないの？いつまでに読むの？早く読みなさい。」と大人が無理矢理読ませることは好ましくないと思っています。こんなことをしてしまうと、それこそ読書嫌いを作ってしまう。では、どうすれば良いのか？いろんな手立てが考えられますが、私の経験から言わせていただくと、何かに興味を持つ、そして、そのことについて知りたいと思う、その延長として読書があってもいいと思っています。私の場合は“動物”でした。小学生の頃、いろんな動物（昆虫・カメ・小鳥等）を飼っていたこともあって、動物のことをもっと知りたいと思うようになり、岡町図書館に通いました。岡町図書館には動物のことを書いた本が200冊ほどありましたが、いつの間にか夢中になり、気がつくとその全部を読んでしまっていました。（これはあくまでも私個人の経験ですので、これに限らなくても全く構いません。）

どんな本を読めばいいのか？に戻ります。ちなみに「ムツゴロウさん」として有名な畑正憲さんは、著書でこのように言っています。「読書といっても、どんな本でもいいのです。何でも読みます。マンガも読みます。『ニャロメ』も大好きです。」と。いわゆる良書100選のようなものがあるのだとは思いますが、その他にも良い本はたくさんあります。畑さんのように、何でも読んでみるという姿勢も大事なのでしょう。その中で、「これはいい本だ！」というものに巡り合えばいいと思っています。

前回に続き、私のつぶやきにおつき合いいただき、ありがとうございます。またいつか、読書について思いついたことがあれば、つぶやきたいと思います。

### ◇個人懇談・作品展 ありがとうございました。



先週から今週にかけて個人懇談を行いました。保護者の皆様には、大変お忙しい中、学校にお越しいただき感謝申し上げます。今回の個人懇談がお子様のますますの成長につながりますよう、学校としても力を注いで参りたいと思います。今後もよろしくお願ひします。

また、懇談と併せて1・3・5年生による作品展も行いました。子どもたちの力のこもった作品をご覧いただけたと思います。感想をいただいておりますので、紹介します。

皆、うまくカメレオンを溶け込ませていて、すごく上手にできていた。お菓子の箱を持って行く説明を子どもからされた時は意味がよくわからなかったが、こういうことか！と思った。すごく面白かった。3年のトロフィーは皆の思い出や好きなものがつまっていた、どれもすごく素敵だった。1年生の動物たちと一緒にいる子どもたちの絵が、どの子もすごく笑顔で楽しそうだった。

